

中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

2022年4月

みずほ銀行(中国)有限公司
中国アドバイザー一部

MIZUHO

中国自動車業界レポート(2022年3月)

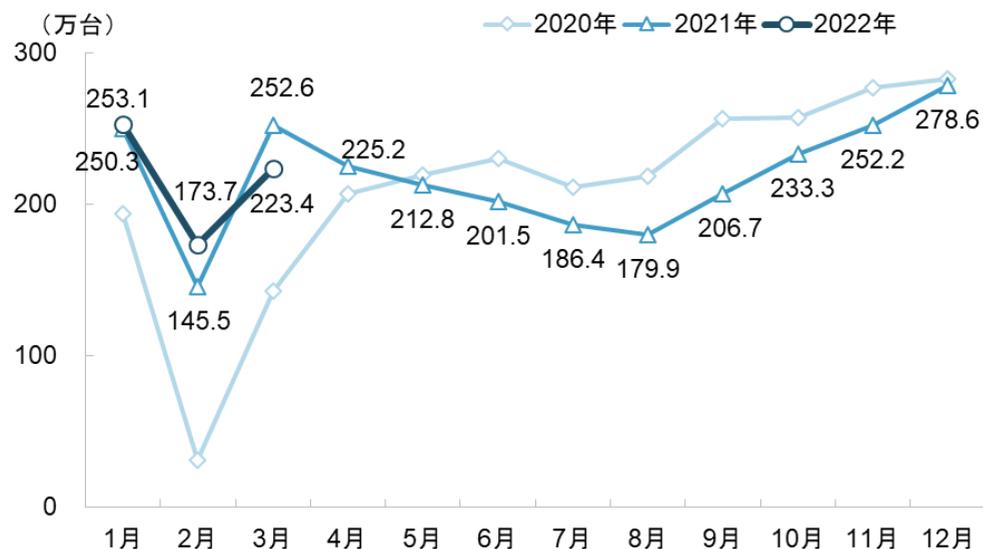
1 自動車販売台数	
1.1 自動車生産・販売台数 2
1.2 乗用車市場 3-4
1.3 高級車市場 5
1.4 日系三強 6
1.5 NEV 7-8
1.6 商用車市場 9
2 在庫 10
3 新たに発売されたモデル 11
4 業界動向 12
5 中古車市場 13
6 生産能力の増強及び資金調達 14

1.1 自動車生産・販売台数

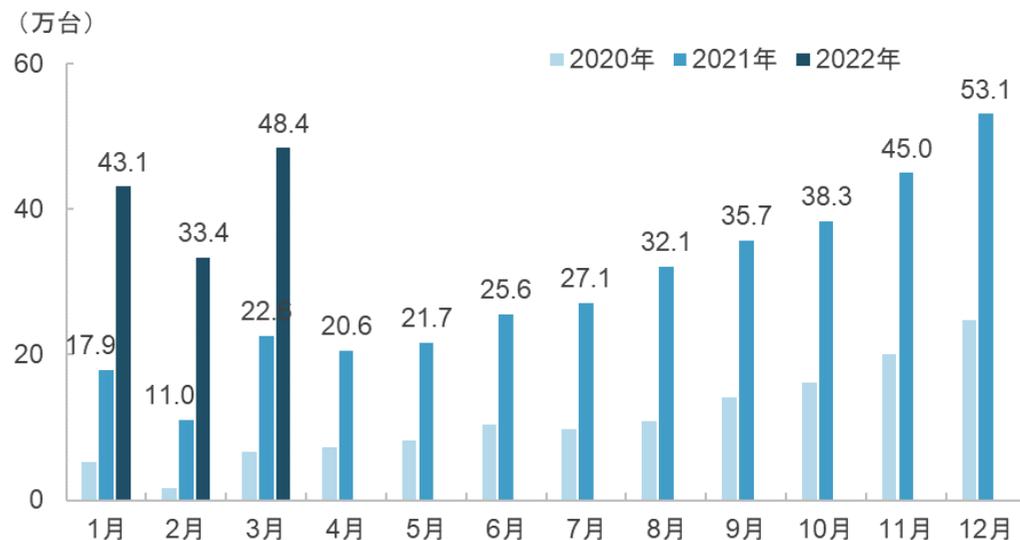
【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

- **自動車生産・販売台数**: 2022年3月の中国自動車生産台数は前年同月比9.1%減、前月比23.4%増の224.1万台、販売台数は前年同月比11.7%減、前月比28.4%増の223.4万台。一部省市でのCovid-19再流行による影響を受けたもの。また多くのメーカーでNEV販売価格を上げたことが小売台数に響いている。1-3月の累計生産台数は前年同期比2.0%増の648.4万台、販売台数は同0.2%増の650.9万台。Covid-19の再流行が全国に拡大する気配があることから、4月の販売台数は前年同月比減となる見通し。
 - ✓ 乗用車: 3月販売台数は前年同月比0.6%減、前月比25.1%増の186.4万台、1-3月累計販売台数は前年同期比9.0%増の554.5万台。
 - ✓ 商用車: 3月販売台数は前年同月比43.5%減、前月比47.7%増の37.0万台、1-3月累計販売台数は前年同期比31.7%減の96.5万台。
- **NEV**: 3月のNEV販売台数は前年同月比2.1倍の48.4万台。うちEVは同2.1倍の39.6万台、PHEVは同2.4倍の8.8万台。FCVは367台。
- **輸出**: 3月のメーカー輸出台数は前年同月比28.8%増、前月比5.5%減の17万台。うち乗用車は前年同月比21.8%増の12.1万台、商用車は同49.8%増の4.9万台。1-3月累計では前年同期比58.3%増の58.2万台と好調。

中国自動車月次販売台数 (2020-2022)



中国NEV月次販売台数 (2020-2022)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

- 乗用車販売台数:2022年3月、中国乗用車市場情報協会の発表した乗用車小売台数は前年同月比10.5%減の157.9万台。乗用車企業Top15の合計販売台数は同11.0%減となった。Top15のうち6社が前年同月比プラス、引き続きBYDが同161.4%増と最大の伸びとなった。
- 累計販売台数:1-3月の累計販売台数では引き続き一汽VWがトップだが、前年同期比では24.6%減と下げ幅が拡大。前年同期比プラスとなったのは4社、うちBYDが最大の伸び(+182.8%)。

乗用車メーカー小売台数Top15

No.	メーカー	2021.3 (万台)	2022.3 (万台)		
			前年同月比	市場シェア	
1	一汽VW	21.09	12.61	-40.2%	8.0%
2	長安汽車	10.27	12.04	17.2%	7.6%
3	BYD	3.95	10.32	161.4%	6.5%
4	吉利汽車	8.99	9.33	3.8%	5.9%
5	広汽トヨタ	6.94	8.80	26.9%	5.6%
6	上汽VW	11.93	7.80	-34.6%	4.9%
7	長城汽車	8.44	7.41	-12.3%	4.7%
8	上汽GM五菱	8.62	7.08	-17.8%	4.5%
9	上汽GM	11.76	7.00	-40.5%	4.4%
10	東風日産	10.09	6.72	-33.5%	4.3%
11	Tesla	3.55	6.58	85.3%	4.2%
12	一汽トヨタ	7.04	5.82	-17.3%	3.7%
13	広汽ホンダ	7.63	5.42	-28.9%	3.4%
14	広汽伝祺	3.15	4.85	53.8%	3.1%
15	東風ホンダ	7.50	4.73	-36.9%	3.0%
Top15 合計		130.95	116.51	-11.0%	73.8%

No.	メーカー	2021.1-3 (万台)	2022.1-3 (万台)		
			前年同期比	市場シェア	
1	一汽VW	55.94	42.18	-24.6%	8.6%
2	長安汽車	34.80	32.47	-6.7%	6.6%
3	上汽VW	39.01	29.58	-24.2%	6.0%
4	吉利汽車	30.62	29.45	-3.8%	6.0%
5	BYD	10.16	28.74	182.8%	5.8%
6	上汽GM	34.69	26.31	-24.2%	5.4%
7	東風日産	28.92	24.04	-16.9%	4.9%
8	広汽トヨタ	20.77	22.88	10.2%	4.7%
9	長城汽車	26.19	21.95	-16.2%	4.5%
10	上汽GM五菱	25.61	21.66	-15.4%	4.4%
11	広汽ホンダ	18.02	18.59	3.2%	3.8%
12	東風ホンダ	21.01	16.89	-19.6%	3.4%
13	華晨BMW	17.58	16.87	-4.1%	3.4%
14	一汽トヨタ	19.51	15.94	-18.3%	3.2%
15	奇瑞汽車	13.87	15.62	12.6%	3.2%
Top15 合計		396.70	363.17	-8.5%	73.9%

出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

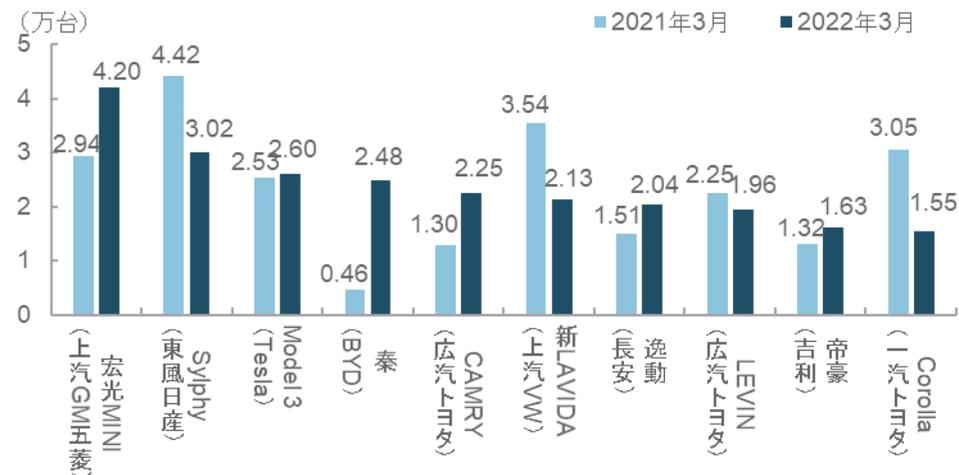
1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

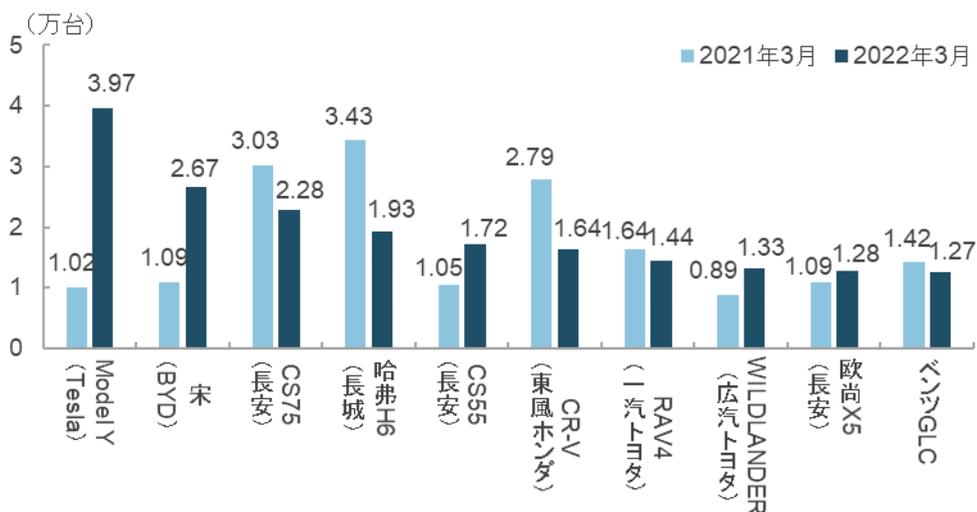
■ 乗用車タイプ別Top10:

- ✓ **セダン**: 2022年3月、五菱宏光MINIが前年同月比42%増と大きく伸ばし初の第1位。日産Sylphyは販売台数を大幅に落としたものの第2位を維持。BYD秦は同5.4倍増の第4位。セダン月間販売台数のCR10は31.2%。
- ✓ **SUV**: Tesla Model Yが前年同月比3.9倍増で第1位。第2位のBYD宋は同145%増。哈弗H6は減速が続く。SUV月間販売台数のCR10は26.3%。
- ✓ **MPV**: トップを維持する五菱宏光は前年同月比46.3%減となったがMPV月次販売台数の20.8%を占める。MPV月間販売台数のCR10は77.2%。

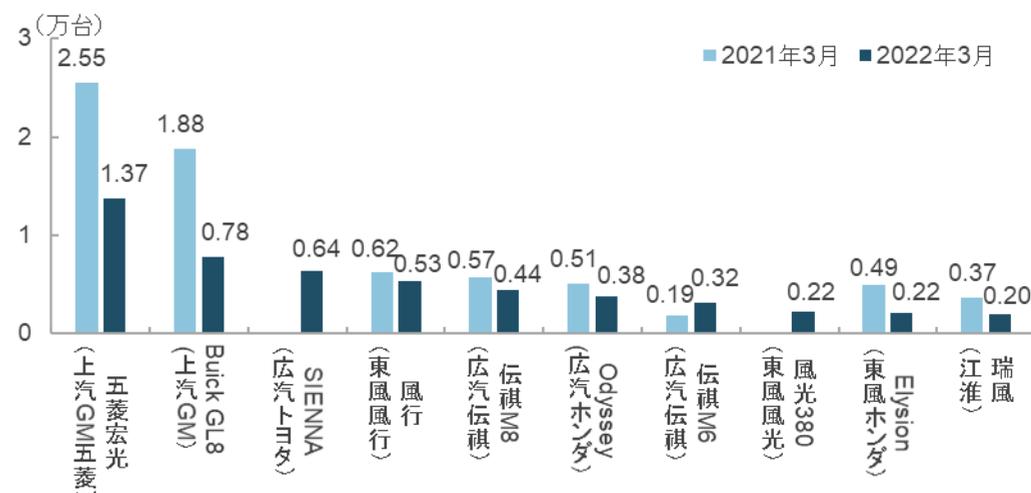
2022年3月セダン販売台数Top10



2022年3月SUV販売台数Top10



2022年3月MPV販売台数Top10



出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.3 高級車市場

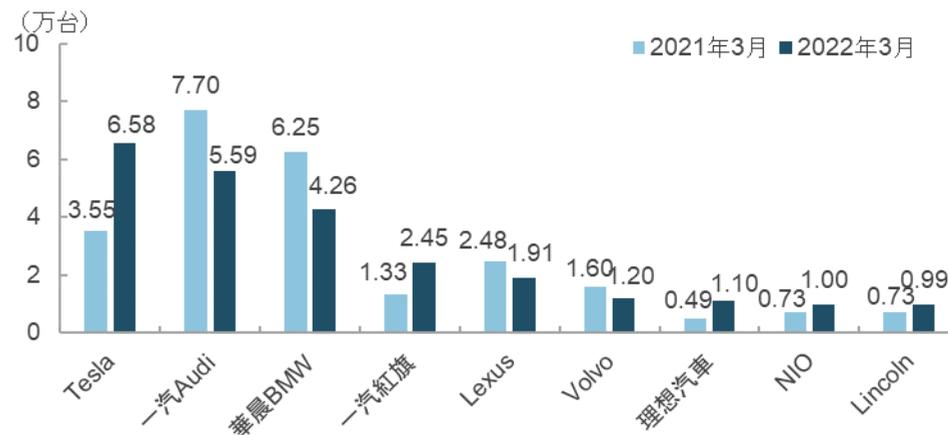
【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

■ **高級車市場**: 2022年3月、国産高級車の小売販売台数は前年同月比14%減、前月比43%増の23万台。3月後半はCovid-19対策が厳しくなったことから、前月の高い伸びを維持できなかった。今月のTeslaは国内納車が中心、納車台数は6.58万台に達した。

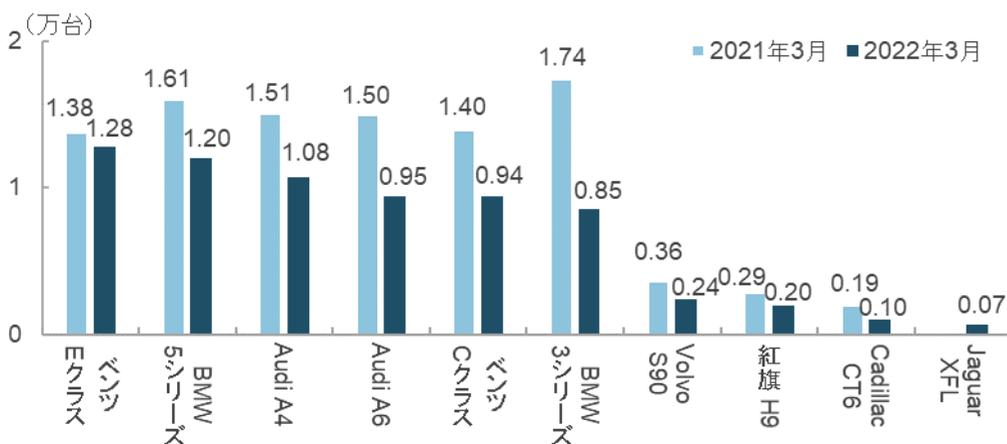
■ **タイプ別:**

- ✓ **セダン**: Top10モデルのうち9モデルが前年同期比減、特にBMW3シリーズは同51%減と大幅減、第1位のベンツEクラスも同7.2%減。
- ✓ **SUV**: 今月Teslaは国内納車が中心となったことから、Model Yが前年同月比3.9倍増となり第1位。理想ONEは同125.1%増の第4位まで順位を上げている。

高級車メーカー販売台数(一部、2022年3月)

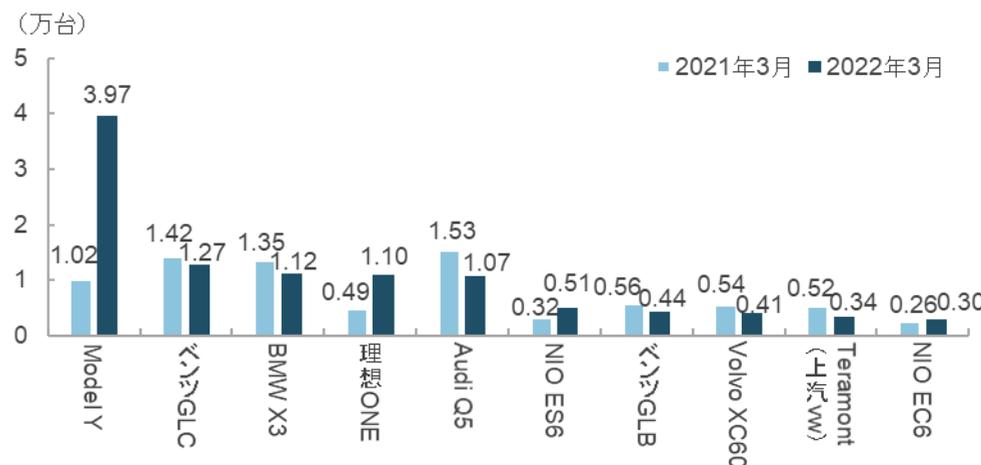


高級セダン販売台数Top10 (2022年3月)



備考: 高級車とは指 導販売価格30万円以上の車両を指す

高級SUV販売台数Top10 (2022年3月)



出所: 新浪汽車、中国乗用車市場情報聯席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

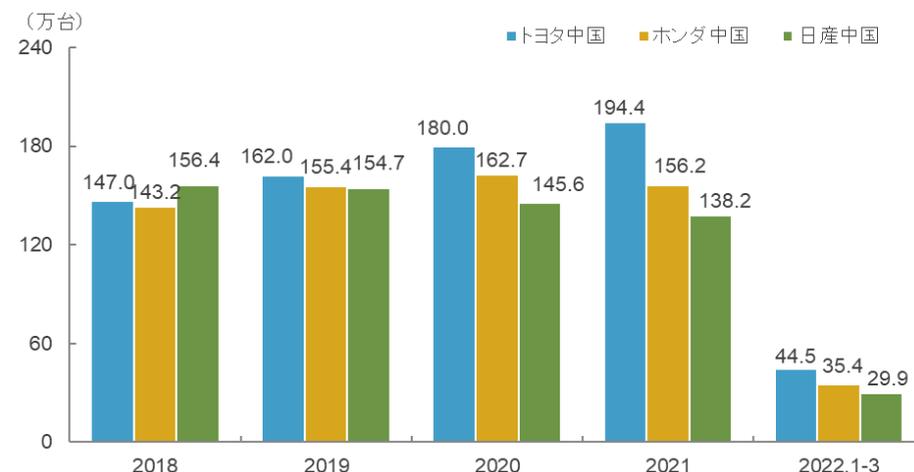
1.4 日系三強

【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

■ **日系三強**: Covid-19の再流行と部品不足の影響により、2022年3月の日系メーカー販売台数は前年同月比減、うちトヨタは横ばいを維持。

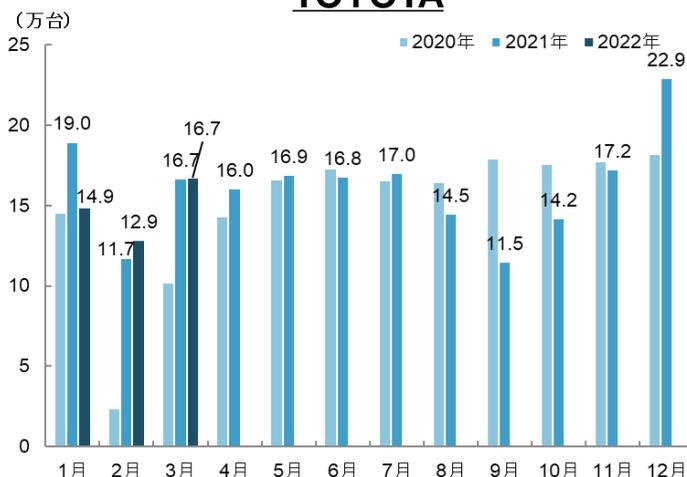
- ✓ トヨタ中国の3月販売台数は前年同月比0.4%増の16.73万台、うち广汽トヨタは同41%増の9.70万台、一汽トヨタはCovid-19の影響で半月生産が停止したことで販売台数も低迷。トヨタ中国のQ1販売台数は前年同期比6.1%減の44.46万台。
- ✓ ホンダ中国の3月販売台数は前年同月比33.1%減の10.10万台、うち广汽ホンダが5.37万台、東風ホンダが4.73万台。ホンダ中国のQ1販売台数は前年同期比9.3%減の35.38万台。
- ✓ 日産中国の3月販売台数は前年同月比32.6%減の8.79万台。各モデルとも軒並み減となった。日産中国のQ1販売台数は前年同期比15.2%減の29.89万台。

日系三強の販売台数(2018~2022)

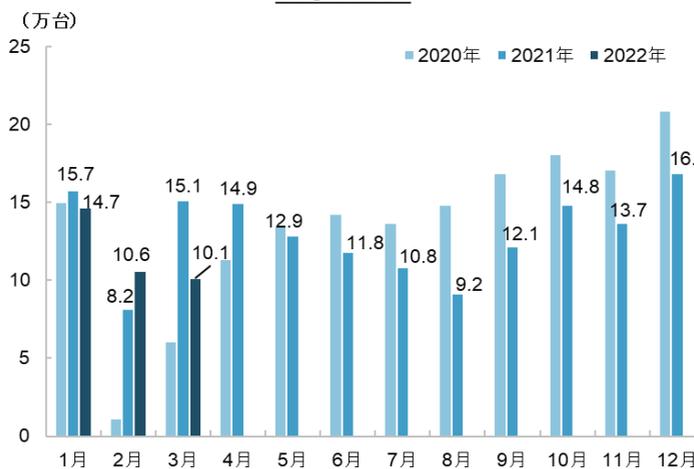


日系三強月次販売台数(2020-2022年)

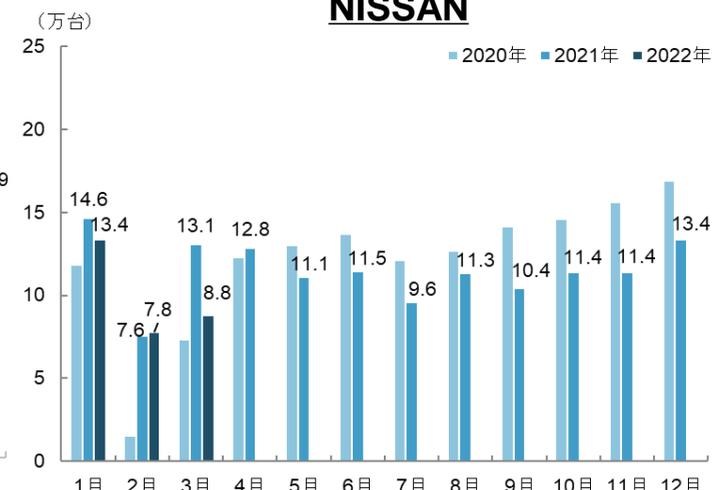
TOYOTA



HONDA



NISSAN



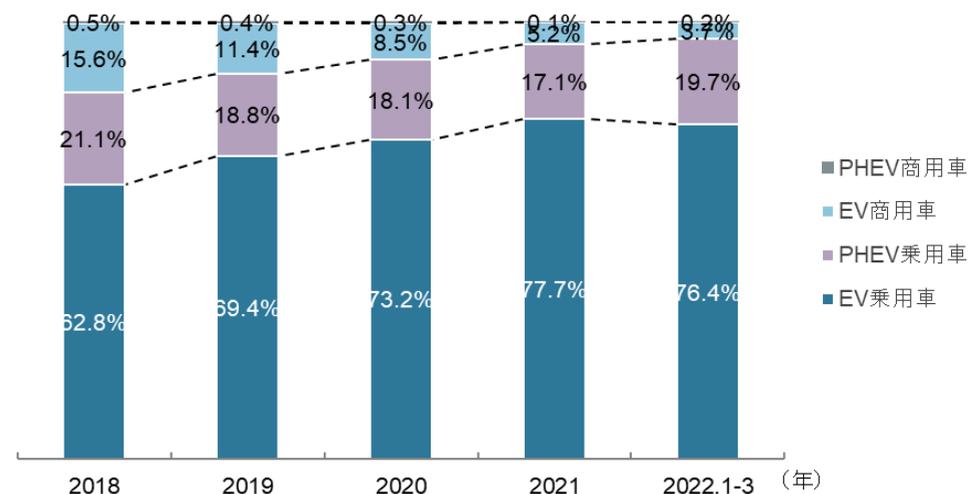
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV①

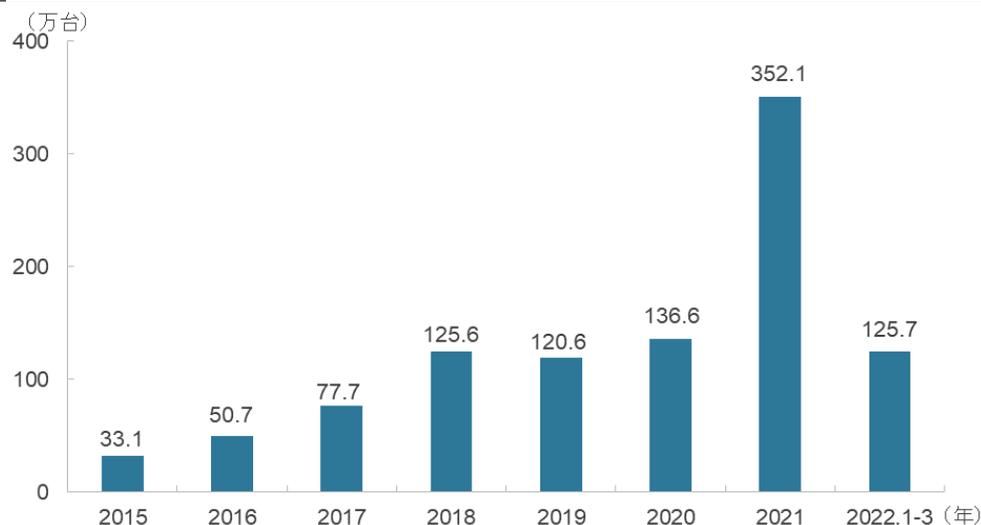
【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

- **第1四半期販売台数**: 1-3月、中国NEV累計販売台数は前年同期比2.4倍の125.7万台。うち、EV販売台数は同2.3倍の100.7万台。PHEV販売台数は同3.0倍の24.9万台。FCV販売台数は同4.9倍の738台。
- **タイプ別**: 1-3月の販売台数構成比ではEV乗用車が最大の76.4%、2021年末比では小幅縮小。PHEV乗用車は2021年末比2.6pt拡大の19.7%。
- **新車販売台数に占めるNEVの割合**: 3月、新車販売台数に占めるNEVの割合は21.7%、乗用車では23.8%と、昨年水準を大きく上回っている。

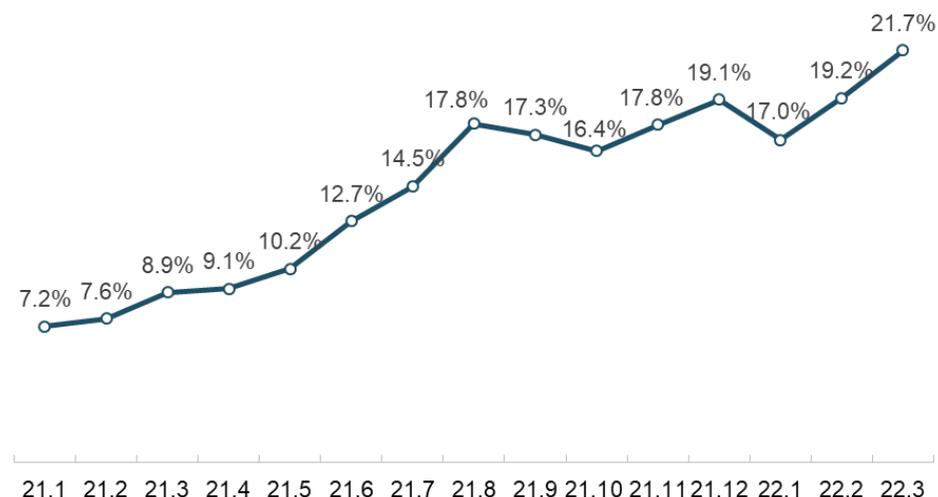
NEVタイプ別販売台数構成比(2018-2022)



中国NEV年度販売台数(2012-2022)



中国新車販売台数に占めるNEVの割合(2021-2022)



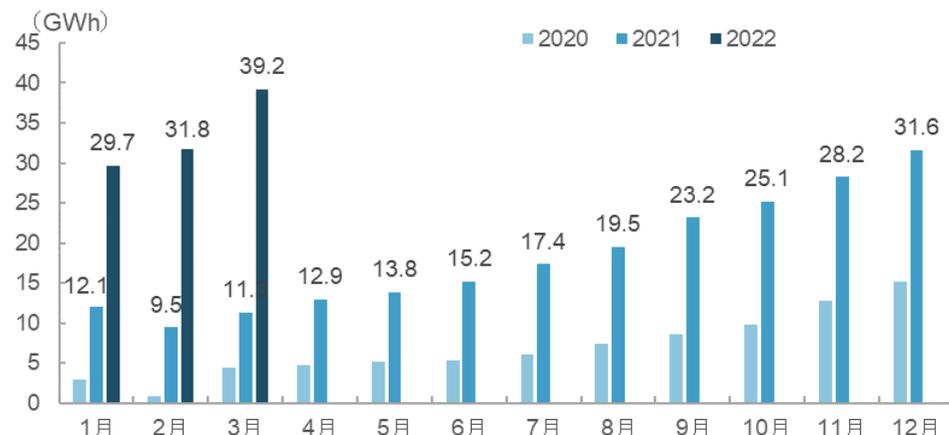
出所: 中国自動車工業協会、中国乗用車市場情報联席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV②

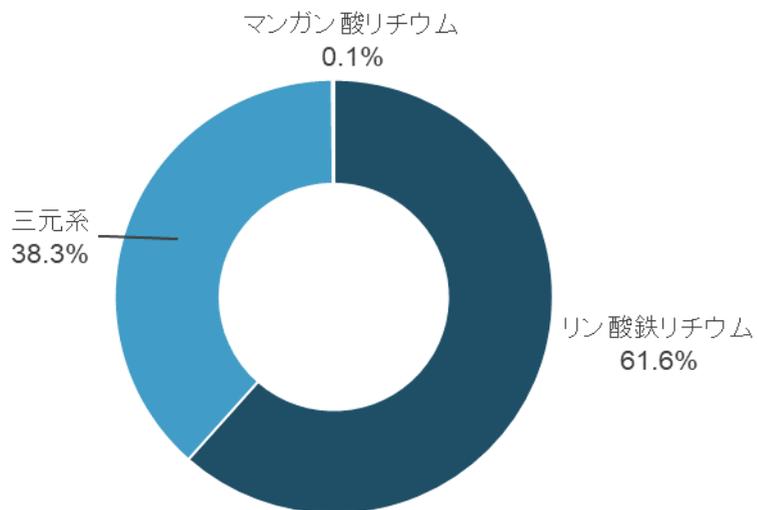
【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

- **動力電池**:2022年3月、中国動力電池搭載量は前年同月比138.0%増、前月比56.6%増の21.4GWhと高い伸びを維持。うち、リン酸鉄リチウム電池の構成比は引き続き三元系を上回り61.6%に達している。1-3月の累計搭載量は前年同期比120.7% 増の51.3GWh。
 - ✓ 生産量:3月の動力電池生産量は前年同月比247.3%増、前月比23.3%増の39.2GWh。うち、リン酸鉄リチウム電池は23.6GWh、総生産量の60.2%、三元系は15.6GWhで同39.7%。
 - ✓ **Top10**:3月は39社の製品が搭載。Top10社の合計搭載量は20.4GWhでCR10は95.4%。うちCATLが50.5%を占める。

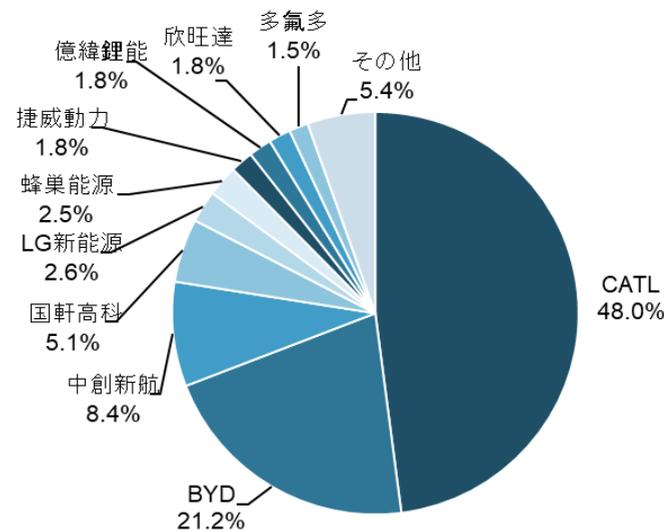
動力電池生産量(2020-2022年)



動力電池搭載量構成比(2022年3月)



動力電池搭載量企業Top10(2022年3月)



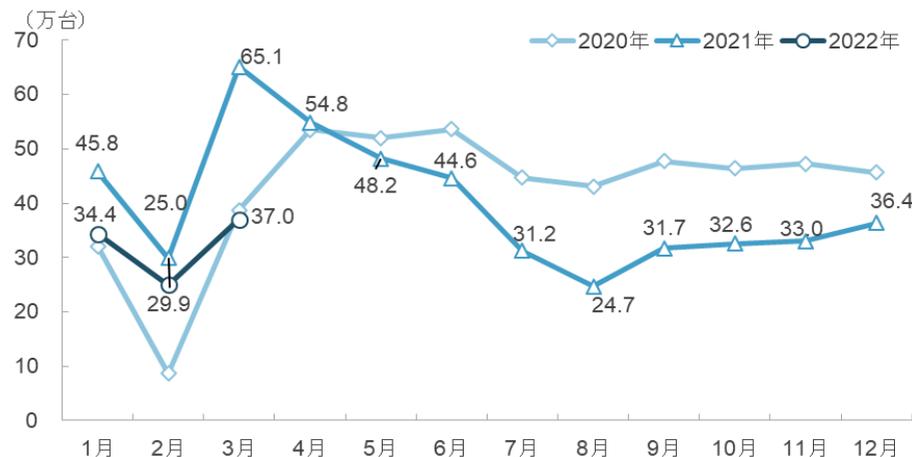
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.6 商用車市場

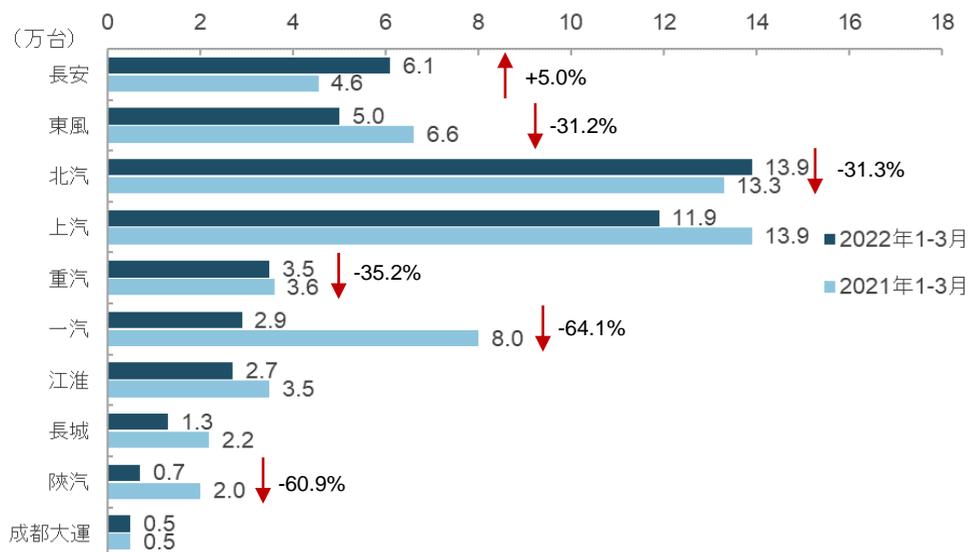
【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

- **商用車の生産・販売:** Covid-19が各地で多発したことで需要は低迷。2022年3月、商用車生産台数は前年同月比38%減、前月比29.2%増の36.0万台、販売台数は前年同月比43.5%減、前月比47.7%増の37.0万台。
- **メーカー別:** 1-3月のメーカー別商用車販売台数Top10では、長安集団を除き軒並みマイナスの伸び。うち下げ幅が最大となったのは一汽集団で前年同月比64.1%減。
- **タイプ別:** タイプ別では小型トラックが18.2万台で構成比の49.2%。次いで大型トラックが7.7万台、同20.8%。バスは3.8万台、構成比はわずか10.3%。

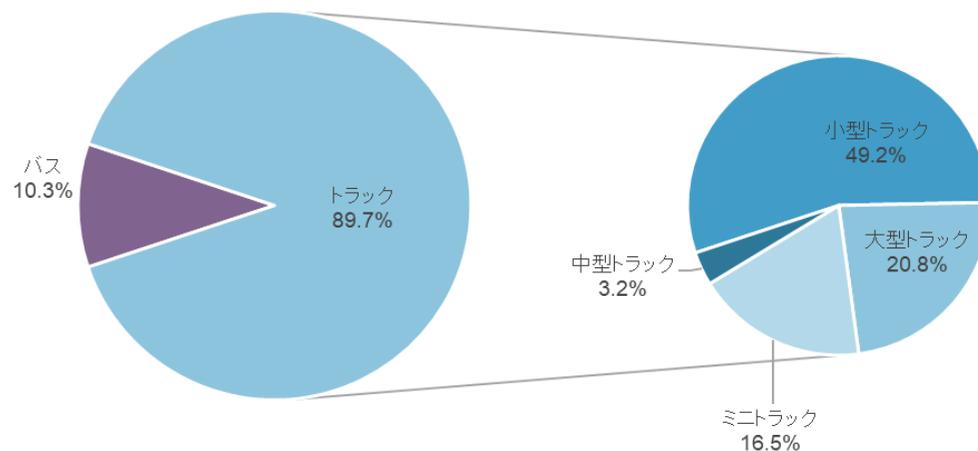
中国商用車月次販売台数(2020-2022)



中国商用車販売台数Top10



商用車車種別シェア(2022年3月)



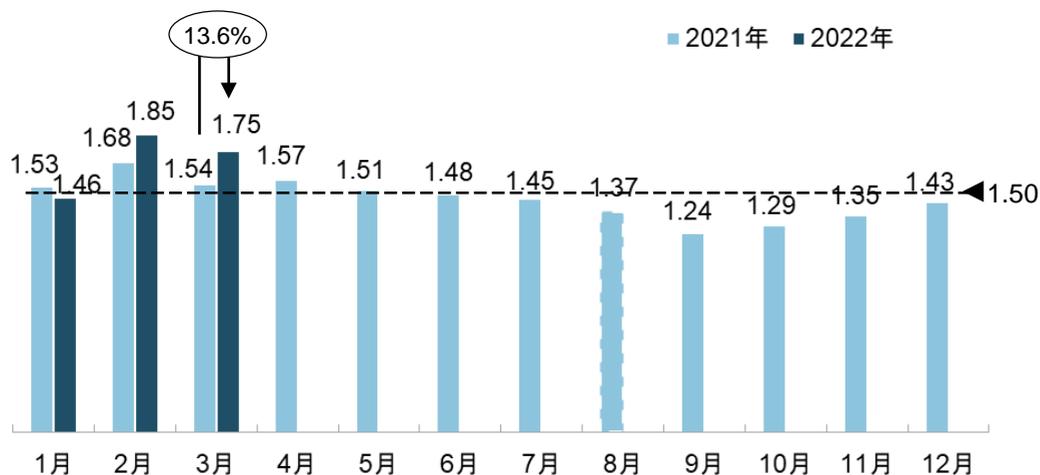
出所: 中国自動車工業協会の発表に基づきみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

2 在庫動向

【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

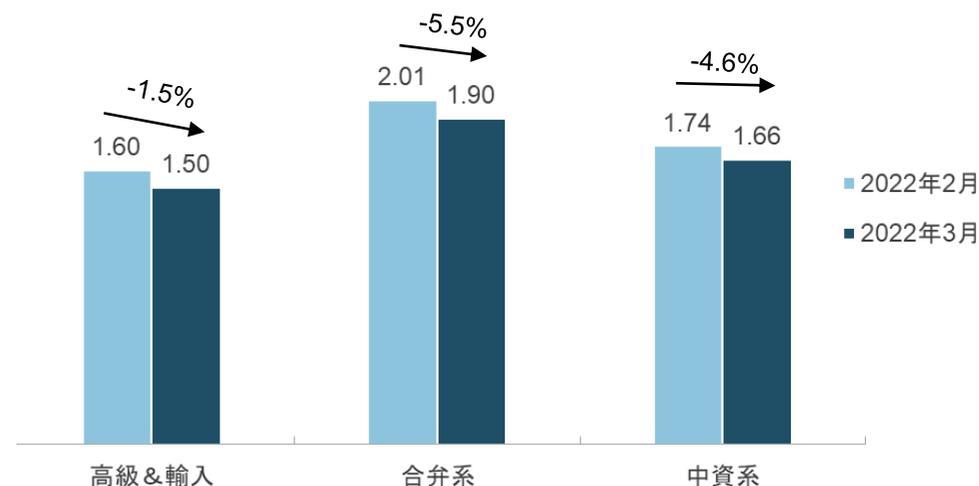
- **在庫係数**:2022年3月のディーラー在庫係数は前年同月比13.6%上昇、前月比5.4%低下の1.75。全国各地でCovid-19の感染が拡大、自動車市場全体が冷え込んだ。販売台数の減少と四半期末の在庫補充により、ディーラーの在庫水準は例年に比べ上昇、在庫水準は警戒線を超えている。
- **ブランドタイプ別**:3月は各地でCovid-19の防疫管理が厳格化、自動車市場は混乱となった。自動車生産台数が減少したことで、在庫も前月比では減少している。高級&輸入ブランドの在庫係数は前月比1.5%低下の1.50、合弁ブランドは同5.5%低下の1.90、中資系ブランドは同4.6%低下の1.66。
- **2022年4月の予測**:防疫管理の強化に伴い、4月に開催予定であった北京モーターショーが延期、各地のイベントも延期されている。新車発売計画の遅れもあり、販売台数に影響する見通し。工場の生産停止などで生産台数も減少、ディーラー在庫係数は3月比低下すると見られる。Covid-19の感染流行が収束すれば、止まっている市場需要が急速に動き出すことから販売台数も回復するであろう。

ディーラー在庫係数 (2021-2022)



説明: 中国汽流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数>1.5が警戒ライン。

ブランド別在庫係数(2022.2~3)



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

3 新たに発売されたモデル(3月11日-4月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

No.	発売日	モデル	販売価格 (万元)	タイプ	排気量	航続距離	メーカー
1	3.12	Lincoln Z	25.28-34.08	セダン	2.0T	-	長安Ford
2	3.17	駆逐艦 05 PHEV	11.98-15.58	セダン	1.5L	55-120km	BYD
3	3.18	奔騰B70S	10.99-14.29	SUV	1.5T、2.0T	-	一汽轎車
4	3.18	坦克500	33.50-39.50	SUV	3.0T	-	長城汽車
5	3.21	長安UNI-V	10.89-13.19	セダン	1.5T	-	長安汽車
6	3.22	金剛炮	8.88-12.38	皮卡	2.0T	-	長城汽車
7	3.23	阿図柯	19.98-22.98	SUV	-	52km	広汽三菱
8	3.28	富康 ES600	15.38	セダン	-	430km	東風汽車
9	3.29	智己L7	40.88	セダン	-	615km	智己汽車
10	3.31	BMW i3	34.99	セダン	-	526km	華晨BMW

出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(3月11日-4月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

No.	企業	関連動向
1	NIO	<ul style="list-style-type: none"> 3月11日、今年度内にドイツ、オランダ、スウェーデン、デンマークにサービス拠点を設置する計画を発表。2025年までに世界25ヵ国及び地域のユーザーにサービスを提供できる体制を構築する
2	中創新航	<ul style="list-style-type: none"> 3月11日、香港証券取引所にIPO目論見書を提出。現時点では2022年香港最大規模のIPOとなると見られる
3	一汽集団	<ul style="list-style-type: none"> 3月13日、Covid-19流行の影響により、長春にある5大工場が生産停止 4月11日より徐々に生産を回復している
4	Tesla	<ul style="list-style-type: none"> 3月15日、販売価格を値上げ。国産Tesla Model 3とModel Yの一部モデルが対象 3月28日、上海におけるCovid-19流行により、Tesla上海工場が生産停止。4月10日時点ではまだ回復していない
5	零跑汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月17日、香港証券取引所に上場申請書を提出。NIO・小鹏・理想」に次ぐ新興EVメーカーによるIPOとなる
6	小米汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月23日、小米の自動車事業部研究開発チーム人員が1,000人を突破。自動運転、スマートコックピット等の領域で研究開発を進め、2024年上半期には量産に入る計画
7	長城汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月30日、「2021年度CSR報告書」を発表。2023年にゼロカーボン工場を実現する計画
8	上汽集団	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日、Covid-19流行の影響を受け、上海にある完成車工場が生産停止に
9	BYD	<ul style="list-style-type: none"> 4月3日、2022年3月以降、従来型燃料車両の生産を停止すると発表
10	四維図新	<ul style="list-style-type: none"> 4月7日、Honeywellと戦略提携枠組協議を締結。自動車用電子チップ、自動運転、スマートコネクテッドにおいて業務提携する
11	广汽ホンダ	<ul style="list-style-type: none"> 4月8日、2023年以降、ACURAブランド製品の生産、販売を行わないことを発表。後続サービスは广汽ホンダが引き続き提供する

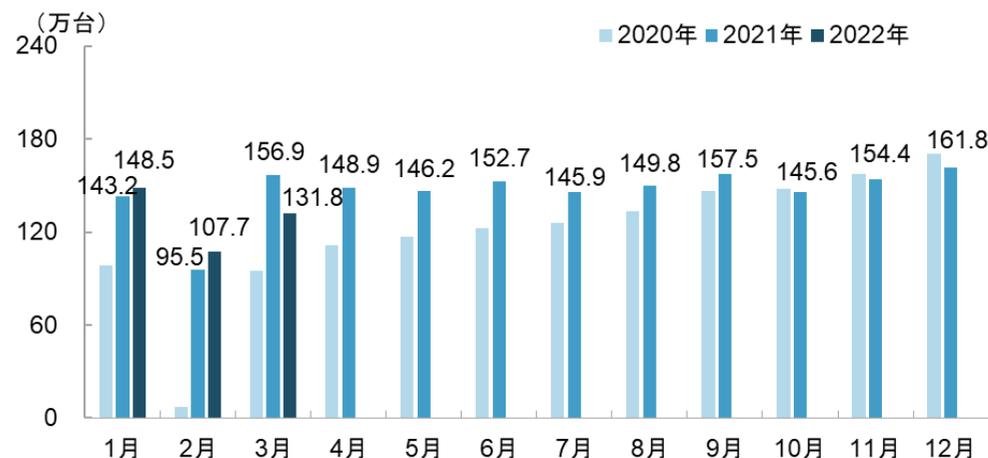
出所：新浪汽車の発表に基づきみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

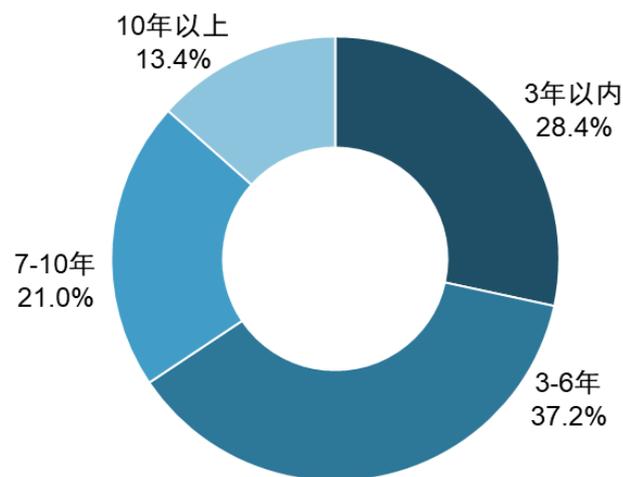
【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

- **中古車取引台数**:2022年3月の中国中古車取引台数は前年同月比16.0%減、前月比22.4%増の131.8万台、取引額は911.3億元。セダン、SUV、MPVともに前月比増となった。4月は全国的にCovid-19の流行が拡大していることから、取引台数は前年同月比減となる見通し。
- **年数別**:3月、年数別取引台数では3-6年が最も多く、全体の40.2%。次いで3年以内が31.0%。
- **省間の転籍台数**:3月の中古車省間転籍台数は31.0万台、転籍率は前年同月比5.11pt低下の23.5%。

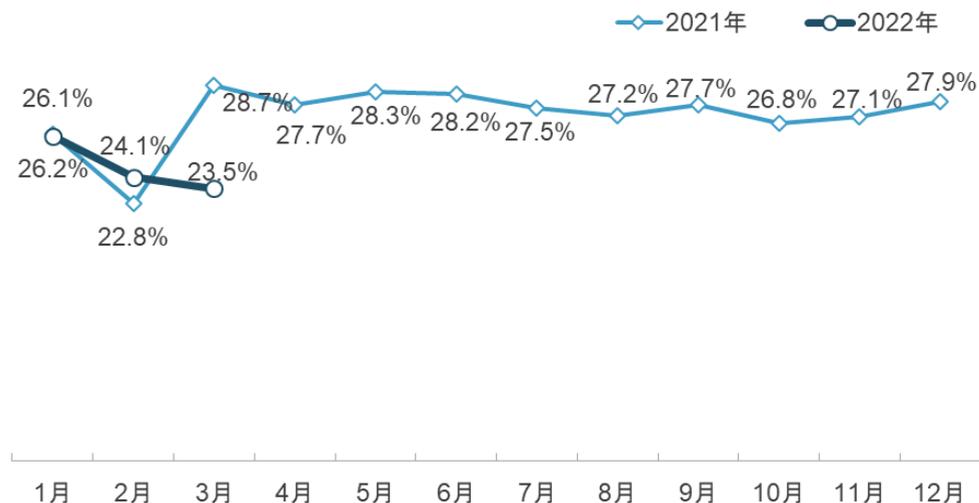
中古車月次取引台数(2020-2022)



中古車年数別取引台数構成比(2022年3月)



省間流通状況(転籍率)



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 生産能力の増強及び資金調達

【中国自動車業界レポート(2022年3月)】

- **生産能力の増強**: 2022年第1四半期、少なくとも7社の完成車メーカーについて新工場の建設あるいは工場拡張工事の情報が流れている。これら新工場で生産されるのは全てNEV、増設される生産能力は計96万台超。
- **資金調達**: 2022年に入り、自動車業界は資金調達ブームを迎え、2022年第1四半期時点で既に40件以上の資金調達が行われている。中でも完成車及びNEV部品分野が多く、産業全体として高い注目を集めている。また、ハイレベルの自動運転ソリューションサプライヤー、量産型の自動運転サプライヤー及びLiDAR、半導体などスマートドライビング領域も依然として注目領域である。

完成車メーカーの生産能力増強状況(2022年Q1)

No.	メーカー	拠点	プロジェクト	年生産能力	進捗
1	広汽埃安	広州	スマートエコ工場二期の拡張	新たに10万台	竣工
2	長城汽車	臨沂	臨沂工場	12万台	買収・整備中
3	東風ホンダ	武漢	EV新工場	12万台	投資協議締結
4	VW	安徽	MEB工場	35万台	ボディ工場竣工
5	Audi-一汽	吉林	NEV工場	15万台	届出
6	広汽ホンダ	広州	NEV生産能力拡張	新たに12万台	省エネ報告承認
7	理想汽車	重慶	第三工場	-	-

自動車業界資金調達状況(一部、2022年Q1)

領域	企業	月	調達額	ラウンド	投資参加企業	製品
完成車	長安NEV	1月	49.77億元	B	長安汽車、南方資産等	-
	集度汽車	1月	4億米ドル	A	百度、吉利	-
	金瓏汽車	1月	-	PreA	共青城基鋭、共青城銀溢	-
	哪吒汽車	2月	20億元	D	中車基金、深創投等	-
	広汽埃安	3月	25.66億元	戦略投資	従業員持株プラットフォーム、誠通集団、南網動能等	-
NEV部品	驥翀氢能	1月	数億元	-	河南戦新、雲沢資本等	FCV電池スタック
	富特科技	1月	約1億元	戦略投資	小米産投	充電
	智緑科技	2月	約1億元	-	リード: 小米、コ: 涌鐸投資、元禾控股等	高圧コネクタ
	瞻芯電子	2月	-	戦略投資	小鵬汽車	SiCパワー半導体
	領充新能源	2月	5,000万元	PreA	正軒投資、陸石投資等	充電
	高能時代	3月	5,000万元	-	同創偉業、欣旺達、珠海高新創投等	全固体電池
スマートドライビング	聚芯微電子	1月	数億元	D	五源資本、バイトダンス等	チップ設計
	黑芝麻智能	1月	-	戦略投資	Bosch傘下の博原資本	自動運転チップ
	速騰聚創	2月	-	戦略投資	BYD、香港立訊、德賽西威、小米長江基金	LiDAR
	羸徹科技	2月	1.88億米ドル	B+	セコイア中国、君聯資本等	自動運転
	芯擎科技	3月	数億元	戦略投資	中国一汽	チップ
	博泰車聯網	3月	3億元	戦略投資	上海国盛資本	IoV製品
縦目科技	3月	10億元	E	東陽冠定、遠海基金、臨芯資本、佐營資本等	自動運転	

出所: 盖世汽車網の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2022 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。